

## NGC「夏のお祭り週間」今年もにぎやかにイベント開催

～酷暑に無縁の高原の夏、延べ約 650 人の会員らが参加～

野尻湖グリーンクラブ(NGC)恒例の「夏のお祭り」が今年も 8 月 12 日から 15 日まで行われ、メイン会場のクラブハウス神山ロッジをはじめ、野尻湖畔やテニスコートなど各地の NGC イベント会場には期間中延べ約 650 人の会員が集まり、それぞれに野尻湖と高原の夏を満喫しました。

このうち 13 日(金)に「野尻湖 緑・水の空間」(親水公園)で行われた「水辺の遊び」には、メンバーやチビっ子たち約 100 人が集まり、野尻湖での水遊びやカヌー、バナナボート、スイカ割りなど思い思いに楽しみました。また、この日のメインイベント「NGC 水泳大会」には各年齢別クラスに選手が参加、湖面の特設コースで行われた競技には、どの選手たちも家族らの声援を受けながら力強く水しぶきを上げていました。



出場選手たちの準備体操



緊張のスタート前



選手名を読み上げる石原委員長

野尻湖グリーンクラブの夏のメイン行事は 14 日(土)の「お祭り」。お祭り会場の神山ロッジには、午後 3 時半のオープン前からメンバーや家族らが次々に訪れました。今年のお祭り会場は女性に大人気のフリーマーケットが大型化されたのが特徴。焼き鳥、焼きそば、焼きトウモロコシ、栗おこわ、クレープなどのほか、お父さんたちに絶大な人気の生ビールや日本酒などのコーナーも並びいつもの「街の縁日」といった雰囲気、会場を埋めたメンバーたちはそれぞれに買い物や飲食を楽しんでいました。



フリマは今年も大人気



“裏メニュー”は特に最高の味と評判



ジュース類にも長い列

ところで、今回から舞台を神山ロッジ入口の階段前に移した「メインステージ」では、午後 4 時半からまず、長野県を中心に活躍する「サブニュマ」のみなさんによる西アフリカ伝統音楽の演奏と踊りが披露され、西アフリカの強烈なリズム感あふれる演奏と体いっぱい表現する独特の民俗舞踊を熱っぽく演じていました。



サブニューマのみなさん



ステージを降りて客席へ



観客全員で西アフリカの挨拶をダンスで表現

続いて、夕闇に包まれはじめた会場は、ガラッと変わって大人のムード。同じく長野を中心に活躍するジャズバンド「ホット ブリザード」のメンバーのうちこの日はテナーサクソフーンとキーボード、ベース、ドラムスによるカルテットにボーカルという豪華メンバーが出演。スタンダードナンバーからブルージーあふれる名曲などが演じられ、会場は都会のライブハウスさながらに、肩を軽くゆすりながらスイングする人、目をつぶって聞き入る人など心の奥底にしみ入るジャズの名曲をしばし楽しんでいました。



ホット ブリザードのカルテット+Vo



会場はすっかり「ジャズのライブハウス」の雰囲気にも包まれた



ライブ演奏が続いた後、会場ではすっかり恒例となった「ビンゴゲーム大会」が行われました。今年の景品は、デジタルカメラや空気清浄機、バーベキューコンロなど多数。ステージ前に陣取った参加者たちからは、ビンゴゲームの番号が読み上げられるたびに、あちこちからため息や歓声上がるなど盛り上がりを見せていました。



毎回好評のビンゴゲーム大会



ステージではこの後、NGCの石原委員長、井原前委員長が壇上に上がって挨拶。そして、今年もフィナーレは恒例の花火大会。スターメインや乱玉、壮大なナイヤガラなどが参加者の目を引き付けたあと、ドーンという大音響とともに上がった大玉の花火が夜空に幻想的な大輪を描いていました。



今夏の野尻湖周辺は、全国的な「猛暑列島」なみに連日真夏の太陽が照りつけましたが、そこは我が国3大国際避暑地の一つ、夏のお祭り期間中は「例年より少しだけ暑い程度の夏」で済み、各イベント参加者たちの「熱中症」を心配していたNGC実行委員らをホッとさせました。

(美山郷 安藤)